

## 令和2年度国立大学法人東京海洋大学第6回経営協議会議事要録

日 時 令和3年3月9日（火） 15時00分～17時00分

場 所 本部管理棟 第一会議室（品川地区）及び Webex によるビデオ会議

出席者 竹内学長、五十嵐委員、井手委員、井上委員、荻上委員、武藤委員、森委員、  
山本委員、東海理事、黒川理事、工藤理事、渡辺理事、堀内副学長（兼 事務局長）

オブザーバー 青山監事、久保田監事、神田副学長、庄司副学長、川辺海洋生命科学部長、  
井関海洋工学部長、田中海洋資源環境学部長、舞田海洋科学技術研究科長、岡  
安教授、婁教授、古暮特任准教授

事務担当者 溝部財務部長、清水学務部長、永井企画評価課長ほか事務関係者

### 議 事

#### 【審議事項】

#### 1 東京海洋大学大学院学則の改正について

東海理事から資料1に基づき、東京海洋大学大学院学則の改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 2 就業規則の改正について

堀内事務局長から資料2に基づき、就業規則の改正について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 3 令和3年度の年度計画（案）について

学長から資料3及び参考資料に基づき、令和3年度の年度計画（案）について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 4 令和3年度予算学内配分について

堀内事務局長から資料4-1～4-3に基づき、令和3年度予算学内配分について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 5 今後の土地の有効活用事業の方向性について

堀内事務局長から資料5に基づき、今後の土地の有効活用事業の方向性について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

## 6 キャンパスマスタープラン（フレームワークプラン）の策定について

堀内事務局長、澁谷施設課長及び古暮特任准教授から資料6に基づき、キャンパスマスタープラン（フレームワークプラン）の策定について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

委員からの主な意見等は以下のとおり。

- ・マスタープランの内容は大変素晴らしいので、具体案の作成に当たってもしっかりと進めてほしい。
- ・マスタープランという全学で目指すべき方向がはっきりと分かるものを作成することは非常に重要である。
- ・マスタープランの策定と並行して現在の施設の修繕等についてどのように進めていくのか考えなければいけない。土地の貸付けにより得られた収益を利用するなど、今後は経営的な視点で計画を立てていく必要がある。

### 【報告事項】

#### ○総務・財務

##### 1 理事及び副学長等の職務分担について

学長から資料7に基づき、理事及び副学長等の職務分担について報告があった。

##### 2 次期副学長候補者の任期変更について

学長から資料8に基づき、次期副学長候補者の任期変更について報告があった。

##### 3 亀戸労働基準監督署からの是正勧告書への対応について

堀内事務局長から資料9に基づき、亀戸労働基準監督署からの是正勧告書への対応について報告があった。

##### 4 教育・研究等のための施設による土地の有効活用の可能性に関するサウンディング型市場調査の結果について

堀内事務局長から資料10に基づき、教育・研究等のための施設による土地の有効活用の可能性に関するサウンディング型市場調査の結果について報告があった。

#### ○教育・学生支援

##### ・ 令和3年度一般選抜の出願状況について

東海理事から資料11に基づき、令和3年度一般選抜の出願状況について報告があった。

○その他

1 学外委員から得られた意見に関する対応状況について

学長及び東海理事から資料1 2及び参考資料に基づき、学外委員から得られた意見に関する対応状況について報告があった。

2 新型コロナウイルス感染症への本学の対応について

堀内事務局長から資料1 3に基づき、新型コロナウイルス感染症への本学の対応について報告があった。

委員からの主な意見等は以下のとおり。

- ・この1年間の新型コロナウイルス感染症への対応を通して得られた知見や改善を要する点などはあるか。

上記の意見に対し、東海理事から以下のとおり説明があった。

- ・オンラインによる遠隔授業を行うことで、予習や復習にオンデマンドの教材が非常に有効であることが分かった。
- ・新型コロナウイルスについて分からない状況の中で、どの程度なら対面での授業が可能か模索しながら進めることに苦労した。得られた経験を生かし、来年度以降も適切に取り組んでいく。

【意見交換】

- ・ With-Corona, Post-Coronaにおけるビジョン2027の実現に向けた課題と対応

学長から資料1 4に基づき、With-Corona, Post-Coronaにおけるビジョン2027の実現に向けた課題と対応について説明があった。また、事前に寄せられた委員からの意見について説明があった。

委員からの主な意見等は以下のとおり。

- ・ ICTを使い、リカレント教育や社会教育によって海洋のファンを増やす活動を展開できるのではないかと考える。
- ・ 本学は英語教育に力をいれているが、今後AIによる自動翻訳等も積極的に導入することで更にグローバルな展開も可能になるのではないかと考える。

上記の意見に対し、学長から以下のとおり説明があった。

- ・ AIや自動翻訳のような技術を活用する場合、使う側の人間性が問われる。今後、教養教育をしっかりと行いながら進めていきたいと考えている。

以上

## 配付資料

### ○令和2年度第5回経営協議会議事要録

- 資料1 東京海洋大学大学院学則の改正（案）新旧対照表 他
- 資料2 就業規則の改正について（令和3年4月1日施行分）
- 資料3 令和3年度国立大学法人東京海洋大学年度計画（案）
- 参考資料 第3期中期目標中期計画にかかる6年分の年度計画
- 資料4-1 令和3年度予算学内配分基本方針（案）
- 資料4-2 令和3年度予算収入・支出学内当初配分（案）【総表】
- 資料4-3 令和3年度予算収入・支出学内当初配分（案）【セグメント別】
- 資料5 今後の土地の有効活用事業の方向性について（案）
- 資料6 キャンパスマスタープラン（フレームワークプラン）
- 資料7 理事及び副学長等の職務分担について
- 資料8 次期副学長候補者の任期変更について
- 資料9 亀戸労働基準監督署からの是正勧告書への対応について
- 資料10 東京海洋大学品川キャンパスにおける教育・研究等のための施設による土地の有効活用の可能性に関するサウンディング型市場調査（結果概要）
- 資料11 令和3年度一般選抜出願状況
- 資料12 学外委員から得られた意見に関する対応状況について
- 参考資料 令和2年度学内TOEIC（IP）テストの実施状況について
- 資料13 東京海洋大学新型コロナウイルス感染症への対応
- 資料14 With-Corona, Post-Coronaにおけるビジョン2027の実現に向けた課題と対応